

神話伝説の山里

たかちほごう

# 「高千穂郷」通信

244

令和6年1月号



発行 宮崎県西臼杵支庁



## 冬を彩るランンキュラス 華麗に咲きました！

ランンキュラスは、西臼杵で生産される冬の花きの代表品目で、関西をはじめ県外の市場からの引き合いも強く、北米など海外にも輸出されています。

2月7日（水）、高千穂地区花き園芸振興会による冬期花き展示品評会が開催され、西臼杵農業改良普及センターの奥野 智子 主査は、硬い茎にしっかりと支えられて華麗に咲き誇る花々を確認しながら、生産者の方々と一緒になって取り組んできたこの一年を思い起こし、大きな喜びを感じていました。

# NPO法人 五ヶ瀬自然学校に つなぐ棚田遺産の感謝状が贈られました！

1月26日（金）、五ヶ瀬町のNPO法人五ヶ瀬自然学校に、農林水産省から「つなぐ棚田遺産」の感謝状が贈られ、県から伝達されました。

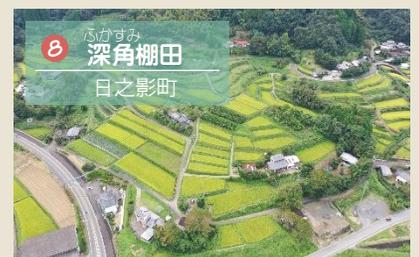
「つなぐ棚田遺産」は、日本の棚田百選を含む全国の優良な棚田を農林水産大臣が認定する取組で、西臼杵では9つの棚田（高千穂町 4、日之影町 2、五ヶ瀬町 3）が認定されています。

NPO法人五ヶ瀬自然学校は、地域内外の子どもから大人までさまざまな人が自然や人と触れ合えるイベントを企画しており、そのイベントを通じた自然環境の保全活動や、人との触れ合いの中で子どもたちの思いやりや自立心を育む道德教育などを行っている団体です。

その活動は多様で、カヌーやフットパスといったアクティビティだけでなく、棚田で収穫したお米のブランド化や荒廃した棚田での大豆や玉ねぎ栽培など農家の収入増加にもつながる取組も行っており、このような活動が五ヶ瀬町の「鳥の巣棚田」や「日陰棚田」の周辺地域の活性化と棚田景観の維持につながっていると評価され、感謝状が贈呈されたものです。

棚田は、米生産にとどまらず、生物多様性の確保、傾斜地の崩壊や洪水防止などさまざまな機能がありますが、農業の担い手減少や高齢化などによって、荒廃の危機に直面しています。

今回の感謝状贈呈は、多大な労力が必要となる棚田の保全には、農業者の努力だけでなく、行政や地域団体など多様な主体が連携し、協力していくことが必要となっているということも、改めて認識する機会となりました。



# 食と農 壁新聞コンクール

日之影町立高巢野小学校3年生の作品が

**最優秀作品賞 & 日之影町長賞** をダブル受賞しました！

受賞作品である「のう家のめぐみ うまさびっ栗新聞」は、日之影町立高巢野小学校3年生の戸高 駿志さん、橋本 梨乃さん、甲斐 姫桜さんの3人が、日之影町の特産である「くり」を取り上げ、生産現場や加工場に足を運んで詳しく取材して作り上げた新聞です。

また、3人は、自分たちで「くり」を使った料理も作り、生産・加工・販売に直接触れて作成した写真やイラスト、文章を通して、「くり」が日之影町の農業や農村の維持に大きな役割を果たしていると伝わってくる点が高く評価されました。

1月10日（水）には高巢野小学校で表彰式が行われ、賞状と副賞を受け取った3人に全校児童から大きな拍手が送られました。

賞を取った作品はもとより、今回応募のあった30作品は、実際の食・農体験をまとめたものや興味深い仕掛けがあるものなど、どれも工夫が凝らされており、地元小学生の食と農に対する想いが伝わる作品ばかりでした。

みやざきの食と農を考える県民会議西臼杵地域支部（支部長：西臼杵支庁次長（農林担当））では、子どもたちが健全に育つために必要な「食」や、それを支えている農業・農村について子どもたちに関心と理解を促すため、独自の取組として毎年「食」と「農」壁新聞コンクールを実施しています。



日之影町立高巢野小学校 3年生



しゅんし 戸高 駿志さん  
り の 橋本 梨乃さん  
めいさ 甲斐 姫桜さん

**最優秀作品賞**  
**日之影町長賞**  
のう家のめぐみ  
うまさびっ栗新聞

**五ヶ瀬町長賞** **パブリカ新聞**



五ヶ瀬町立鞍岡小学校 3年生  
梶原 悠辰(ゆうしん)さん  
渡邊 和美(あみ)さん  
吉村 美桜(みさ)さん  
中村 文音(あやね)さん  
中園 椰々(なな)さん  
白瀧 湊都(みなと)さん



**高千穂地区農業協同組合**  
**代表理事組合長賞**  
ランキュラス新聞

高千穂町立岩戸小学校 6年生  
甲斐 莉緒(りお)さん



**高千穂町長賞**  
知っちょる？教え茶る新聞

高千穂町立岩戸小学校 6年生  
稲葉 滉太(こうた)さん  
甲斐 翔大(しょうた)さん

# 西臼杵地区烏龍茶研究会 が 宮崎日日新聞農業技術賞 受賞！

西臼杵地区烏龍茶研究会が第66回宮崎日日新聞農業技術賞を受賞しました。この賞は、本県の農業の発展や地域活性化に貢献した個人や団体などに贈られるものです。

1月19日（金）に宮崎市で行われた贈呈式には、研究会（会員12名）を代表して、会長の甲斐 雅也さん（高千穂町）、副会長の甲斐 鉄也さん（日之影町）、宮崎 亮さん（五ヶ瀬町）、藤本 航太さん（五ヶ瀬町）の4名が出席し、互いに受賞をたたえ合いました。

烏龍茶の生産は、これまで国内の品種では難しいとされてきましたが、“茶葉を炒る”という生産過程が釜炒り茶と類似することから、研究会では、新たな需要を掘り起こそうと、約15年前から研究や勉強会を重ね、西臼杵農業改良普及センターも全面的に協力して独自製法を確立しました。

昨年の「日本茶AWARD2022」において、甲斐 雅也会長が生産した烏龍茶が、日本茶準大賞(出品526点中2位)を受賞するなど、その品質は全国で高く評価されています。販路拡大に向けて茶の新たな魅力を創出し、経営安定化にもつなげるなど、会員が互いに協力し合ってここまでの成果を上げた取組は、山間地茶業のモデル的な取組と言えます。会長の甲斐雅也さんは、「手探りのところから取り組み始めたが、ここまでこれたのは、会員の協力と関係機関の支援のおかげ。今後も地域の茶業振興に努めていきたい」と意気込んでいました。



左から、烏龍茶 紅茶 釜炒り茶

## 能登半島地震の被災地支援 に

### 西臼杵支庁土木課 <sup>なかお たくや</sup> 中尾 拓也 主任技師が派遣されました

1月に発生した能登半島地震の被災地支援のため、西臼杵支庁土木課の中尾 拓也 主任技師が、石川県に派遣されました。

1月26日（金）に県庁で行われた出発式では、中尾 主任技師をはじめ、派遣される行政職 4名、建築職 1名の計5名の職員に、河野知事からの激励がありました。

中尾 主任技師は、建築職としての専門知識を生かし、応急仮設住宅の建設や被災住宅の補修に関する業務に当たる予定で、「1か月と短い期間ではありますが、被災された皆様が安心して過ごせる住まいを一日でも早く得られるように私のできる事を精一杯やってきます」と話していました。



知事から見て後列左側が 中尾 技師

## 令和6年 能登半島地震義援金 募金のお願い

設置場所 西臼杵支庁 1階 福祉課

設置時間 平日 午前8時30分 ~ 午後5時15分

令和6年1月に発生した能登地方を震源とする地震により被災された方々を支援するため、「令和6年能登半島地震義援金」の募金箱を設置しています。義援金は、被災地の方々の生活支援に充てられます。県民のみなさまの御支援・御協力をお願いします。



西臼杵フェイスブック 「ウキウキ！好き好き！ニシウスキ！」 更新中！

発行/宮崎県西臼杵支庁 編集/総務課  
〒882-1101 宮崎県西臼杵郡高千穂町大字三田井22  
TEL 0982(72)2181 FAX 0982(72)3760

神話伝説の山里 「高千穂郷」通信

